

**福岡  
開催**

# 平成25年度 第2回 検査・処置・手術安全セミナー 『適切なアラームへの対応』

今年度、認定病院患者安全推進協議会 検査・処置・手術安全部会では、「適切なアラームへの対応」を年間テーマに揚げ、活動しています。ワークショップ形式で開催した第1回検査・処置・手術安全セミナーに引き続き、このたび、シンポジウム形式のセミナーを開催いたします。

今回のセミナーでは、積極的な取り組みを進めておられる全国の施設の担当者をお招きし、実践例を交えながら議論を深めていく予定です。

セミナーを通して自院の対策についても見直していただく機会となれば幸いです。奮ってご参加ください。

開催日

平成26年2月6日(木)

時間

13:00開始 17:00 終了

会場

エルガーラホール 中ホール (福岡市)  
※今回は東京ではなく、福岡開催となります。

定員

先着200名 (1病院5名様まで)

費用

無料 ※事前申し込み制

対象

認定病院にご所属の方  
アラームの対応・患者安全に興味をお持ちの方の参加をお待ちしております。  
(職種は問いません)

開催形式

シンポジウム形式



本セミナーは通常、協議会会員病院を対象にご案内しておりますが、今回は協議会会員病院以外の病院機能評価認定病院にご所属の方も申し込みいただけます。

このチラシを、病院内に興味をお持ちの方(臨床工学技士・病棟看護師など)にもご回覧ください！

# 申込方法

## ◇認定病院患者安全推進協議会の会員病院にご所属の方

当協議会ホームページ(<https://www.psp.jcqhc.or.jp/>)より「会員サイト」にログインし、「セミナー・フォーラム参加申込」画面よりお申してください。

※会員サイトへのログインには、ユーザーIDとパスワードが必要です。

※パスワードをお忘れの方は、再発行の手続きをお願い致します。

手続きの方法につきましてはホームページをご確認ください。

## ◇上記以外の病院機能評価認定病院にご所属の方

当協議会ホームページ(<https://www.psp.jcqhc.or.jp/>)の申込専用サイトよりお申してください。

受付中

【募集締め切り】  
平成25年1月30日(木)  
事前申し込み制 定員になり次第終了

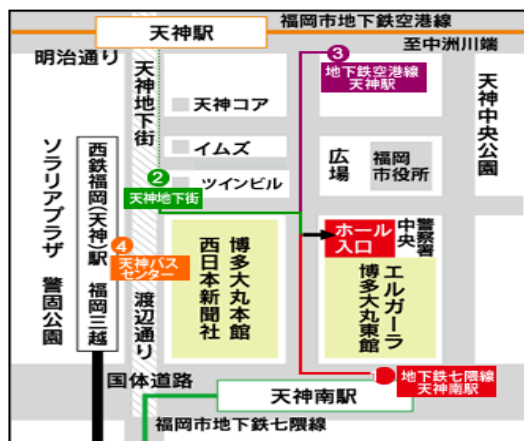
## 会場アクセス

～エルガーラホール～



【エルガーラホール】  
〒810-0001  
福岡県福岡市中央区天神1-4-2  
☎092-711-5017

- 市営地下鉄空港線
- 市営地下鉄箱崎線
- 市営地下鉄七隈線
- JR
- 福岡都市高速
- 西鉄大牟田線



お問い合わせ

(公財)日本医療機能評価機構 評価事業推進部 中田・伊藤 TEL 03-5217-2326(直通)

いただきました個人情報は当機構の個人情報保護方針に基づき、適切に管理いたします。

# 患者の異常を知らせるアラーム

# アラームへの対応を見直し、医療安全へ！

アラームへの対応で  
こんな経験ございませんか？

## 現場の声

- アラームに気づかず心拍数の低下・SpO<sub>2</sub>の低下の発見が遅くなった。
- アラームが頻発してスタッフの危機意識が薄れている。
- アラームを消音にしている、異変に気づかなかった。
- 複数のアラームが重複し、重要なアラームが紛れ込んで、確認が遅くなった。
- スタッフが対応に追われ、スタッフステーション内にスタッフが不在になり、アラームに気づかなく、患者の対応が遅れた。
- ちょっとした体動により、「呼吸回数」などでアラームがなり、常にアラームがなっているため、重要なアラームに気づかない。

《第1回のセミナー参加病院から寄せられた声より》

アラーム対応遅れに起因するトラブルは少なくない！

『無駄鳴りアラーム』で困っていませんか？  
アラーム慣れしていませんか？？

機械の不備や電池切れ、センサーのはずれ、  
患者の一時的な軽い症状 等が要因の

## 過剰なアラーム

アラーム音に慣れてしまう

- アラームが鳴っていてもすぐに対応せず、勝手な思い込みや、自己の経験などで判断してしまう。
- 鳴り続けても気にならなくなってしまう。
- 重要なアラームへの対応が遅くなる。



手遅れ・トラブルの原因

今回のセミナーが  
アラームの対応を見直すきっかけに！！

## セミナーのポイント

- ◆ アラームの対応に関する問題の現状を把握
- ◆ 他施設で行われている効果的な取り組みや工夫を知る

自施設にあった  
アラーム対応の仕組みを考えるヒントにしよう！

## プログラム

テーマ：『適切なアラームへの対応』

全体司会：米井 昭智（検査・処置・手術安全部会長）

13:00～13:15 検査・処置・手術安全部会の活動について／米井 昭智（検査・処置・手術安全部会長）

13:15～14:15 基調講演 ～無駄鳴りアラーム改善のために今取り組むべきこと(仮)～  
／ 萩原 弘子(日本光電工業株)

アラーム事故から生まれたモニタの安全機能、また、米国のアラーム対応に関する取り組み、データの活用方法、理想のアラームとは何か、無駄鳴りアラームを改善するために各医療施設でどのような取り組みが必要かなどについて解説していただきます

14:30～16:30 パネルディスカッション～病院取り組み事例紹介～

- ① 独立行政法人 国立病院機構 大阪医療センター／高田 幸千子(看護部 副看護部長)
- ② 旭川赤十字病院 / 脇田 邦彦(医療技術部 臨床工学課技師長)
- ③ 帝京大学医学部附属病院 / 城戸 之恵(安全管理部 専従安全管理者)
- ④ 一般財団法人 脳神経疾患研究所附属南東北福島病院 / 本田 毅(臨床工学科 主任)
- ⑤ 社会医療法人 さいたま市民医療センター／富永 あや子(診療技術部 臨床工学科)

16:30～17:00 全体協議（会場からのご質問にもお答えいたします）